



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



中番フェスティバル開催！「一流」、「表現者」として…。

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

早いもので今日で11月も終わり、明日からはよいよ12月です。

さて、先週の金曜日(26日)、中番フェスティバルを開催しました。風が少し吹きましたがとてもよい天気でした。運動会に引き続き、天気も味方してくれているかのような感じでした。運動会が終わって4週間、子供達はこの中番フェスティバルに向け、自身の目標に向かい頑張ってきました。体育館からは、合奏の様々な楽器の音色が、合唱の歌声が、太鼓の音が、毎日のように響いていました。中番フェスティバル前日の25日(木)の5校時、全校生で相互鑑賞会を行いました。誰もが一生懸命頑張っていました。そのステージを見ながら、「芸術的な活動」はいいなあとしみじみ思いました。誰もが一生懸命、自分の力を発揮していました。また、見る側の子供達は他学年のステージを一心に見つめていました。誰もが心に何かを感じていたのだと思います。そのことは、発表後の子供達の大きな拍手に、その思いを感じることができました。保護者の皆様も音楽的活動の発表のご経験がおありではないでしょうか。木琴、鉄琴、バスキー、キーボード、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、大太鼓、小太鼓、カスタネット、トライアングル、等々。様々な楽器がありますが、ご自身で演奏された楽器があると思います。学校によって楽器の種類も演奏した楽曲もそれぞれ様々でしょう。ただ、学級で、複数学年で、一つのものを創り上げることは、非常に心に残る活動であったと思います。上手く演奏できないもどかしさや辛さ、しんどさ、それ故、できたときの喜び、仲間と喜びを分かち合える瞬間、辛いだけでなく、やってよかったと思える有意義な活動だったと思います。相互鑑賞会の終わりに、司会の子供の方から私の方に声が掛かり

ましたので少し話をしました。それは、「一流」ということ、「表現者」ということでした。「一流」ということですが、自分のステージの中には自分がやるべき、果たすべき役割というものがあります。その役割を自分が責任をもって行うこと、何が何でもやりきること、そして、絶えず自分を振り返り、昨日よりは今日、今日よりは明日、というように自分を常に高められる人、そのようなことを思い、その思いに近づこうと努力し続ける人が「一流」と言われる人であると話しました。また、「表現者」については、ステージに立つ人は、歌うこと、楽器を演奏すること、その立ち居振る舞いで、自分の様々な思いや願い、気持ちを見ていただいている人に伝えることが大切、そんな話をしました。そして、ステージの回数は、今日を含め3回。明日の2回。しかし、明日の2回の公演は、お客さんが違います。2回目、上手くいかなかったから3回目を頑張ります。それはそれで大切な気持ちですが、それでは、困ります。2回目の公演、3回目の公演の両方ともに全力を出し切り、やりきりましょうと話しました。そして、皆さんの表現したものが、表現したことが、見ていただいた方に、何かあったかいもの、ほっこりしたもの、明日への元気や勇気、希望を与えることができればいいなと思っていますと話しました。先日の中番フェスティバル、子供達のステージは如何だったのでしょうか。保護者の皆様、ご覧いただいた皆様に、あったかい、この中番小学校の子供達ならではの何かを伝えることはできたのでしょうか。アンケートも実施しておりますので、忌憚のないご意見をよろしくお願い申し上げます。

私は、子供達のステージを見ながら、子供達は本当に頑張っているなあと感じていました。日々、よりいいものを創り上げるために努力していました。当然、先生達からの厳しい要求もあります。一つのものを創り上げるには、それ相応の時間が掛かります。これはある意味、当たり前のことです。この活動で、子供達の純粋な一生懸命さ、真面目さ、ひたむきさが、ご覧いただいた皆様に伝わっていただければ大変、嬉しく思います。